

校長 田邊 道行

## 音楽フェスティバルと協調性

本日、音楽フェスティバルが開催されました。今年は創立150周年という節目の年であり、各学年が工夫を凝らし、一生懸命に練習した成果を発表していました。子どもたちの合唱、合奏、ダンスはいかがでしたでしょうか？

合唱や合奏の最大の魅力は、多くの声や音が重なり合って生まれる音色の美しさにあると感じます。一人一人の歌声は小さくても、集まって溶け合うことで広がりや深みのある響きが生まれます。また、様々な楽器の音が合わさることで、素晴らしい演奏が生まれます。しかし、同じ歌を歌っていても、各自がバラバラなことを考えていれば美しい響きは生まれません。心を一つにそろえ、全員で一体となって歌い、演奏することで、初めて聴く人の心に響く音楽が生まれるのです。

合唱や合奏に取り組むことにより、自然と仲間と協力しようという気持ちが芽生えます。子どもたちには「協調性」について話しました。協調性とは、異なる環境や立場の人、異なる考えを持つ人と協力し、同じ目標の達成に向かって行動する力のことです。各学年の合唱や合奏では、子どもたちが「よい演奏をしよう」という共通の目標に向けて協調性を発揮している姿が見られました。小集団での協調性が、やがて社会全体で求められる社会性につながります。音楽フェスティバルは、新しい教育目標「よりよくかわる」に通じる協調性や社会性を育てるよい機会となっています。

## 新しい教育目標

来週、新しい教育目標のデザインを拡大した掲示物が体育館に設置されます。このデザインは、様々な案を検討した上で、高学年の児童にアンケートを実施し、最終的に右のデザインに決定しました。

昨年の春日中学校区合同学校運営協議会で、地域の方から「未来の春日地域には『かわり』が重要である」というご意見をいただきました。感染症の流行や情報化の進展などにより、現代社会は大きく変化しています。こうした時代だからこそ、人とのかわりを軸に、学びの対象（人、もの、こと）、社会、生活、メディアなど、様々なものと適切にかかわる資質・能力を身に付けることが重要です。



そこで、今年度、謙信公の義の心にも通じる「よりよくかわる」を新しい教育目標としました。「よりよく」には「より主体的に、より対話的に、より協働的に、より健康的に、より深く」などの意味が、「かわる」には「寄り添う、見つめる、調整する、学ぶ、考える」などの意味が込められています。

また、当校は13年前にコミュニティ・スクールに指定されて以来、社会性を育むことを中心課題としてきました。この教育目標はその課題とも直結しています。

今後もこの教育目標が地域と学校が共有する目標となるよう、取り組んでまいります。

# 1年生にじいろ学年

～4頭のヤギさんが  
やってきたよ！～



9月27日、にじいろ学年に新しい仲間が加わりました！「めえめえちゃん」、「もふちゃん」、「マシュマロちゃん」、「バニラちゃん」の4頭のヤギさんです。みんなで「にゅうがくしき」をしたり、毎日のお世話をしたり、一緒に遊んだりして楽しく過ごしています。4頭が元気に過ごせるように、ヤギさんの様子を毎日見ながら、一人一人が気を配りながらかかわっています。



しんそうが  
ドキドキしてる

もふもふし  
て

まいにちのおせ

たくさんたべて、わ、  
げんきにそだって

いっしょにグラウンドに  
おさんぽにいったよ！

# 6年生よつば学年

代表委員会  
「登下校の仕方」をよりよくするた  
めに、自分たちの委員会で  
できることを話し合っています。

委員会活動や学校行事で活躍する機会が更に増えました。自分のことではなく、全校のみんなのことを考えて行動しています。かけはし班活動では、下学年に優しく寄り添ったり、スムーズに活動を行うことができるよう、一生懸命準備や運営に取り組んだりすることで、自分たちも大きく成長しています。これからも春日小学校を引っ張っていきます!!



## かけはし遠足

快晴の中行われたかけはし遠足。  
下学年を気遣い、寄り添う姿がたくさん見られました。



## 持久走記録会

自分のベストが出せるよう、  
全力で取り組みました!

## かけはし読書会

みんなに喜んでもらえる  
よう、慎重に本を選んだり、  
たくさん練習したりしました!  
本番は大成功!!



## 金管活動

“聴いた人も演奏者も思い  
出に残る演奏”にするため  
に、一生懸命に練習しました!

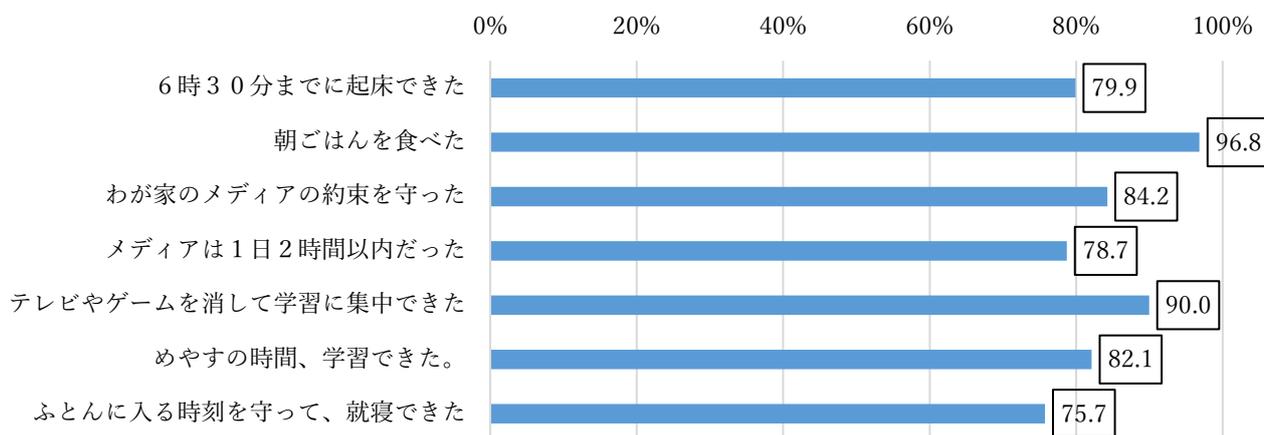


# 春日ハッピーウィーク ~生活リズムを意識して、家庭学習に取り組もう~

春日中学校区では、健康的な生活習慣の確立に取り組んでいます。3校共通取組として2学期開始時期に強調週間を実施しています。春日小学校では、生活習慣・家庭学習習慣の確立ができるよう9月2日(月)~9月6日(金)に、「春日ハッピーウィーク」を全校で実施しました。ご家庭でのご協力ありがとうございました。結果の一部を紹介します。



## 全校 項目別の集計結果



★「メディアは1日に2時間以内だった」と「学習に集中できた」は強い関連があることが分かりました。

★「メディアの約束を守った」と「メディア2時間以内」「学習に集中できた」「めやすの時間、学習できた」「就寝時刻」は中等度の関連があることが分かりました。

## ~わが家のメディアの約束~

スマートフォンやタブレットなどの電子メディア機器は、便利でたくさんの情報を得ることができます。ゲームをしたり動画を見たりして楽しんでいる子どもも多いかと思います。反面、長時間のメディア使用により生活習慣が乱れたり、視力が低下しやすくなったり、誰かとトラブルになったりなどの悪影響もあります。

小学校の6年間は心も体も大きく成長する大切な時期ですが、この時期は、自己抑制力や判断力が未熟です。そのため、メディアを利用する場面が最も多いと考えられる家庭において、大切な子どもたちを守るために「わが家のメディアの約束」を作る必要があると考えられます。

今回の取組では、使うタイミングや使う時間など、具体的な姿がイメージできる約束を決めているご家庭が多かったです。子どもたちの成長や生活習慣の変化に合わせて実態と約束が合っているか定期的に見直すことも大切です。

## ★こんな約束がありました ★

- ・勉強中はテレビやゲームを消す
- ・寝る1時間前にはやめる
- ・ゲームは夜8時まで
- ・宿題をしてから
- ・やるべきことを終わらせてから
- ・食事中はテレビを見ない
- ・夜9時以降はスマホ、パソコンをやらない

★帰宅してからのお子さんの過ごし方はいかがでしょうか。まずは、家庭学習と睡眠時間の確保を。余った時間を有効に活用できるとよいですね。